



令和2年5月28日(木) 担当：佐喜真吉乃

4月からの家庭保育・保育時間へのご協力ありがとうございました。久しぶりの登園、お友達・先生との再会に少し恥ずかしそうにしながらも喜び、元気に体を動かしお友達と遊びを楽しむ姿をみてとてもうれしく思います。

「ママとたくさんあそんだよ。」「ベランダでプールしたりバーベキューした」と家庭保育で楽しくすごしたことをたくさんお話ししてくれました。きりん組さんは久しぶりの登園から緊張し涙をすることもありますが、少しずつ園の生活を思い出していけるようゆっくり関わっていきたいとおもっています。ご家庭でも引き続き、手洗いうがい、体が疲れているときは十分な休息をとり、私たち大人も規則正しい生活をとるよう心がけましょう。

### きりりんチームのようす

梅雨の時期。園庭のビオトープ（池）にはたくさんのおたまジャクシやカエルが育っています。エビやおたまジャクシをつかまえようと橋から身をのりだして一生懸命つかまえようとしているこどもたち。  
A君が橋の真下をすーっとのぞいているのでいったいなにをみているのか一緒にになって身を低くしてのぞいてみると・・・  
「先生みて！おたまジャクシ！ロバクバクさせて苦しいのかな？」と大興奮。橋の下にはたくさんのおたまジャクシが水面に集まってきていました。  
A君は、水中から水面にあがっては、またもぐるおたまジャクシの様子をずっと観察していたんです。少し腰をおとして子どもの目線になって見てみると、私たち大人からはいつもの景色が宝物のような見方・発見に変わるんだなと実感した場面でした。

### なごみチームのようす

雨天の日が続き室内で過ごすことも多くなりました。室内遊びが続くと、子どもたちもストレスが溜まりケガにつながることもあるため、体を使って思いきり遊べるように、ホールを使用しストライダーや運動遊びをしています。  
ストライダーを初めて経験する子どもも多く、最初はハンドル操作が難しく転んでしまう子どもが多かったのですが、回数を重ねることで、ハンドルを操作してカーブを曲ることもできるようになりました。  
また運動遊びでは両足をそろえてジャンプをしたり、おもいきり走ったりと子どもたちの発達に合わせた運動を取り組んでいます。  
少しずつ、体力をとりもどしていけるよう“たのしむ”をねらいに運動遊びをかかわりたいです。



## ありがとうございました！

緊急事態宣言に伴う特定保育期間中には私たち保育教諭も在宅勤務の際、製作の見本や部品の準備・子どもたちのコーナー遊びの年間計画や資料の作成・見守り保育の原点の学びをふかめることができました。保護者の皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします

### スプーン・フォークの持ち方と食事のマナーについて

きりん組さんのくらすだよりで、子育てでの悩みや、「こんな時には、どう子どもたちに関わったらいの？」と日々の保護者からの疑問にアドバイスができるよう園での関わりをふまえ紹介しながら、悩みを解決できたらと思います。

今回は、スプーン・フォークの持ち方です。以前、「自宅ではお箸の練習をはじめているんだけど、なかなかフォークが上手もちからなならない。」という声がありました。

園では第一に、自分で楽しみながら食事をすすめる。というねらいをもち、2本の指でもつ鉛筆持ちに指導をしています。園では「バキューンしてごらん」と声掛けをしフォークを持たせています。

ご家庭で食事を進める際に少し見直してみてもほしいのが食器です。家庭ではつい、洗い物を少なくとワンプレートでの食器ではないでしょうか？園でもお皿を持って食事を進めるというのが難しい子が多くみられます。子ども達がお皿をもって食事をすすめられるようお皿を小皿にしてみるだけで、お皿をもって自分で食事をすすめていけるようになります。大きなお皿では3歳の子どもの力でもって食事を進めることが難しいですよ。なによりも食べるのが楽しい！と思えるよう親が手本となって正しいマナーをみせてあげましょう。  
→裏面へは写真が掲載されています。

#### ①バキューン



#### ②フォークをのせてそのままにぎります

